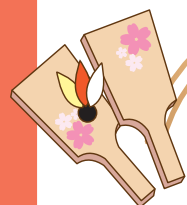


S-QUE 研究会の
「**看護技術**」の研修が始まります



S-QUE

知識・技術・手順書で学ぶ

新人看護職員研修



2024年4月スタート



オープニング
記念公開！

詳しくは p2 へ



無料お試し 事前申込受付中！

お申し込みは WEB サイトから
<https://s-que.net/apply-form/freetrial/>



S-QUE 新人看護職員研修の無料お試しは

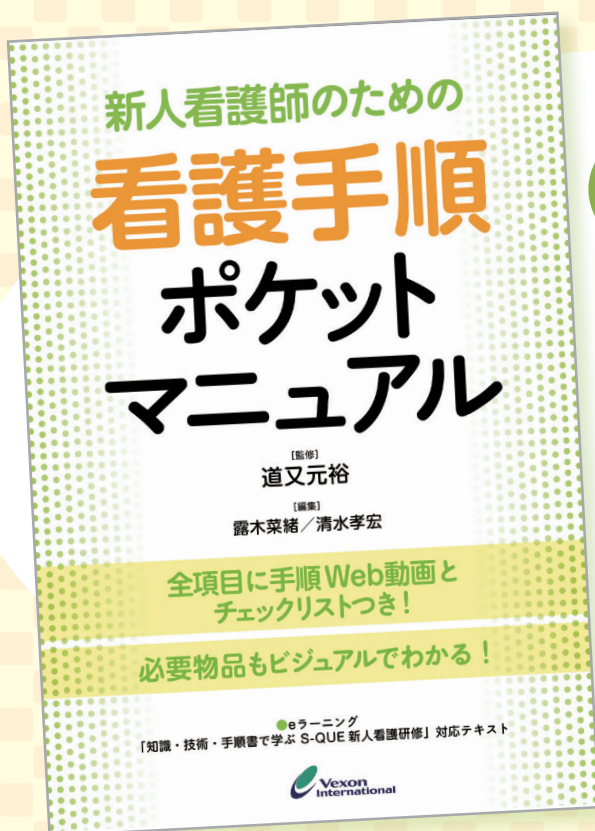
2024 年 1 月 22 日 スタート！



最新の技術・講義プログラムはこちら



「看護手順ポケットマニュアル」を
2024年3月までにお申込みいただいた病院様には、
無料で毎年20冊お送りします。



eラーニング画面
印刷の必要なし!



【新人看護師のための看護手順ポケットマニュアル】
道又 元裕 監修 / 露木 菜緒・清水 孝宏 編集
A6判 / 120頁予定 / 予価 1,200円
ヴェクソン医療看護出版
2024年4月刊行

※予告内容は変更になる場合があります。

7 IAD (失禁関連皮膚炎) の処置

【目的】 IADの観察、IADの治療促進、IAD部の痛みの緩和

【適応】 ADを有する患者

【必要物品】



- 基本
 - A: マスク・アイガード
 - B: 手指消毒剤
 - C: 未滅菌手袋
 - D: ビニールエプロン
 - E: ビニール袋
 - F: 吸水・防水シート
 - G: 不織布ガーゼ
 - H: オムツ
 - I: 洗浄が必要な場合
 - J: 微漏漏
 - K: 洗浄剤
 - L: 洗剤
 - M: 肛門洗浄剤
- びらん・潰瘍がある場合
 - M: 創傷処置薬
 - N: 必要薬
 - O: 車椅子
 - P: 汚物

観察	異常時の対応
IAD部	IAD発生部位、IADの重症度(発赤・びらん・潰瘍)
自覚症状	IAD部の灼熱感・痛み・痒痒感
尿の性状	浮遊物の有無、臭気
便の性状	Bristol スケール (排便の基本的知識参照)

チェックリスト

確認日 年 月 日

実施者:

確認者:

1-できる 2-指導の下でできる 3-演習でできる 4-知識としてわかる

- 必要物品を準備することができる。 1 2 3 4
- 本人確認を行うことができる。 1 2 3 4
- IAD処置の目的を説明し、同意を得ることができる。 1 2 3 4
- 手指衛生を行い、手袋、ビニールエプロン、ゴーグル、マスクを着用することができる。 1 2 3 4
- IAD全体が見える、安全な体位に整えることができる。 1 2 3 4
- 汚染しないように、吸水・防水シートを敷き、服や寝具を調整することができる。 1 2 3 4
- ビニール袋を近くに置くことができる。 1 2 3 4
- 陰部の観察ができる。 1 2 3 4
- IAD部を洗浄することができる。 1 2 3 4
- 不織布ガーゼ等で押さえるように水分を除去することができる。 1 2 3 4
- 手袋を交換することができる。 1 2 3 4
- IAD部に薬剤を塗布することができる。 1 2 3 4
- 吸水・防水シートをはずし、新しいオムツに交換することができる。 1 2 3 4
- 個人防護具を外し、手指衛生ができる。 1 2 3 4
- 患者の寝衣と寝具を整えることができる。 1 2 3 4

・手のひらサイズ 約 120 g

・eラーニング動画に連動した看護手順書 / チェックリストと事前準備物品



学びは最初が
肝心じゃぞ!

新人看護職員研修ガイドラインを忠実に具現化

厚生労働省新人看護職員研修ガイドラインは、「基本姿勢と態度」「技術的側面」「管理的側面」の3側面での学習を推奨しています。S-QUE新人看護職員研修は、技術だけではなく、新人看護職員が「基本姿勢と態度」「管理的側面」も学習できるように完全設計しています。

新人看護職員研修ガイドライン (厚生労働省) 臨床実践能力の構造

I 看護職員として必要な基本姿勢と態度

II 技術的側面

III 管理的側面

具現化

具現化

看護技術を身につける

- ①看護手順書
- ②臨床実践に必要な看護技術(技術動画+チェックリスト)
- ③看護技術に必要な基本的知識(講義+確認テスト)

看護職員として必要な一般的知識を身につける

「基本姿勢と態度」「管理的側面」が統合された講義プログラムと確認テストをご用意しています。

厚生労働省『新人看護職員研修ガイドライン』

I 看護職員として必要な基本姿勢と態度

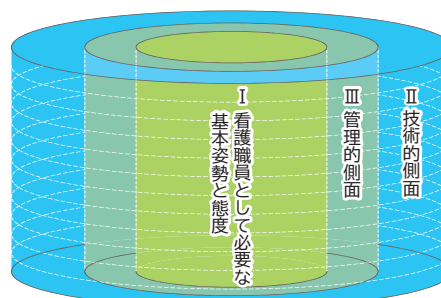
- ①看護職員としての自覚と責任ある行動
- ②患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立
- ③組織における役割・心構えの理解と適切な行動
- ④生涯にわたる主体的な自己学習の継続

III 管理的側面

- ①安全管理
- ②情報管理
- ③業務管理
- ④薬剤等の管理
- ⑤災害・防災管理
- ⑥物品管理
- ⑦コスト管理

II 技術的側面

- ①環境調整技術
- ②食事援助技術
- ③排泄援助技術
- ④活動・休息援助技術
- ⑤清潔・衣生活援助技術
- ⑥呼吸・循環を整える技術
- ⑦創傷管理技術
- ⑧与薬の技術
- ⑨救命救急処置技術
- ⑩症状・生体機能管理技術
- ⑪苦痛の緩和・安楽確保の技術
- ⑫感染防止の技術
- ⑬安全確保の技術
- ⑭死亡時のケアに関する技術



※ I、II、IIIは、それぞれ独立したものではなく、患者への看護ケアを通じて統合されるべきものである。

【臨床実践能力の構造】

看護は必要な知識、技術、態度を統合した実践的能力を、複数の患者を受け持ちながら、優先度を考慮し発揮することが求められる。そのため、臨床実践能力の構造として、I 基本姿勢と態度、II 技術的側面、III 管理的側面が考えられる(上図)。これらの要素はそれぞれ独立したものではなく、患者への看護を通して臨床実践の場で統合されるべきものである。また、看護基礎教育で学んだことを土台にし、新人看護職員研修で臨床実践能力を積み上げていくものである。(新人看護職員研修ガイドライン【改訂版】から抜粋)

新人看護師・先輩看護師・看護管理者 それぞれの立場で役立ちます！

新人看護師
まずはしっかり学習



ガイドラインに基づいて、技術と知識を身につけます



指導する立場も大変



動画と手順書で後輩にアドバイス
特に「技術の知識」動画は役立ちます

先輩看護師
新人の指導に役立ちます



毎年の新人看護職員研修の準備は大変



新人看護職員研修の内容をまるごと用意
業務負担を大幅軽減

看護管理者
安心して研修を
行うことができます

3ステップで技術を確実にマスターする



看護手順書で手順を確認

- 手順書は自施設に合わせて編集が可能
院内独自のテーマで手順書を一から作成することもできます。
- オリジナル画像も登録可能
- 印刷して利用することも可能



技術動画で手順を確認

- 看護手順書と連動した最新の技術映像を看護の専門家チームが制作
- オリジナルキャラクター「まめ爺」の解説により、技術の根拠となる「なぜ行う?」「注意点は?」「コツとワザ」も一緒に学べます。
- 360度好きな角度から確認できる映像を随時追加予定!



手順のチェックリストで達成度を共有

- 新人看護師が入力したチェックリストを教育担当者が確認し、コメントを返信
- Web上で共有できるので、新人看護師・教育担当者・管理者で進捗状況を共有できます。
- CSVデータでダウンロードも可能
編集して自施設の評価表を作ることもできます。
- 印刷して紙で共有することも可能



看護技術に必要な基本的知識の講義動画と確認テストで理解を深める!

- 技術動画とは別に、基本的看護技術を支える科学的根拠、構造的知識を学べる基本的知識の講義動画も用意 (各10分)
- 確認テストは理解が深まるまで何度でも受けられます。



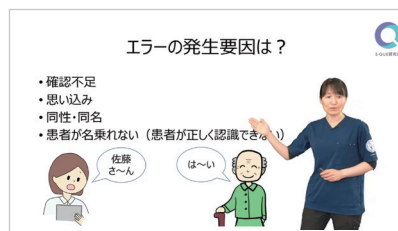
看護職員として必要な一般的知識を身につける 基本姿勢と態度・管理的側面は講義で学ぶ！

臨床実践能力の構造として、「基本姿勢と態度」「技術的側面」「管理的側面」は、それぞれ独立したものではなく、患者への看護ケアを通じて統合されるべきものとされています。S-QUE 新人看護職員研修では、「技術的側面」だけでなく「基本姿勢と態度」「管理的側面」が統合された講義プログラムを用意しておりますので、教育担当者の負担を大幅に軽減できます。

1. 看護職員としての自覚と責任ある行動 (25 講義)

例：患者安全と患者誤認防止策の実施〈安全管理〉

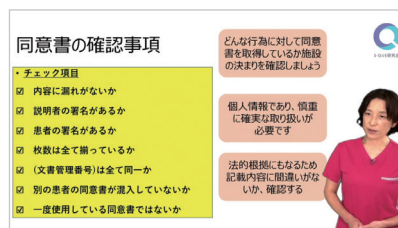
公立陶生病院 集中治療室 看護師長
濱本 実也



2. 患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の 確立 (10 講義)

例：インフォームド・コンセントと看護師の役割の基本〈情報管理〉

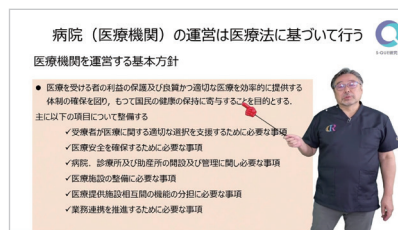
榊原記念病院 看護管理室 副看護部長
片山 雪子



3. 組織における役割・心構えの理解と適切な行動 (15 講義)

例：病院運営と経営・経済管理〈コスト管理〉

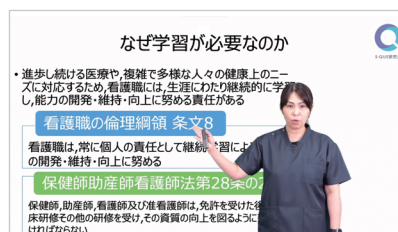
一般社団法人 CCRI 代表理事
元・杏林大学医学部付属病院 看護部長
ヴェクソンインターナショナル株式会社看護企画部 部長
道又 元裕



4. 生涯にわたる主体的な自己学習の継続 (17 講義)

例：ポートフォリオ〈業務管理〉

小倉記念病院
クオリティマネジメント課 課長
立野 淳子



各講義に、**講義資料**と**確認テスト**が用意されています！

●講義スライドは資料として印刷可能です。

●確認テストは、自動採点され、解答と解説が表示されるので復習にも活用できます。

●テスト結果は、Web 上に反映されるので、教育担当者、管理者も管理画面から確認できます。

講師一覧（敬称略・五十音順）

浅香 えみ子	東京医科歯科大学病院 副病院長／看護部長
鮎原 秀明	東京医科大学病院 薬剤部 主査
宇都宮 明美	関西医科大学 看護学部 クリティカルケア看護学領域教授 急性・重症患者看護専門看護師
大久保 恵子	製鉄記念八幡病院 患者サービス室 課長
加島 広太	東京女子医科大学病院 リハビリテーション部 理学療法士
片山 雪子	榊原記念病院 看護管理室 副看護部長 集中ケア認定看護師
川端 千壽	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 看護部 主任 急性・重症患者看護専門看護師
小池 伸亨	前橋赤十字病院 看護部 看護師長
後藤 順一	河北総合病院 急性・重症患者看護専門看護師
坂倉 圭一	東京医科大学 薬剤部 客員研究員 すこやか薬局
櫻本 秀明	日本赤十字九州国際看護大学 クリティカルケア・災害看護教授
里井 陽介	那覇市立病院 看護部 集中ケア認定看護師
座間 順一	東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター 主任 クリティカルケア認定看護師
清水 称喜	ヴェクソンインターナショナル株式会社 小児救急看護認定看護師 MBA ヘルスケア マネジメント修士
清水 孝宏	一般社団法人 CCRI 理事 ヴェクソンインターナショナル株式会社 クリティカルケア認定看護師

志村 知子	医療法人幸優会訪問看護ステーション Pono 急性・重症患者看護専門看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師
圖師 将也	東京女子医科大学病院 リハビリテーション部
滝島 紀子	川崎市立看護大学名誉教授
立野 淳子	小倉記念病院 クオリティマネジメント課 課長 急性・重症患者看護専門看護師
辻本 雄大	クリケア訪問看護ステーション代表 急性・重症患者看護専門看護師 特定看護師、公認心理師 奈良県立医科大学公衆衛生学講座博士後期課程
露木 菜緒	一般社団法人 CCRI 理事 ヴェクソンインターナショナル株式会社 集中ケア認定看護師
西村 祐枝	岡山市立市民病院 看護部 副看護部長 急性・重症患者看護専門看護師 クリティカルケア認定看護師
濱本 実也	公立陶生病院 集中治療室 看護師長 集中ケア認定看護師
廣瀬 恵	東京女子医科大学病院 リハビリテーション部 副技師長 運動器認定理学療法士 介護支援専門員
藤野 智子	聖マリアンナ医科大学病院 看護部 看護師長 急性・重症患者看護専門看護師 集中ケア認定看護師
三上 剛人	吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 学科長
道又 元裕	一般社団法人 CCRI 代表理事 元・杏林大学医学部付属病院 看護部長 ヴェクソンインターナショナル株式会社 看護企画部 部長
山形 泰士	東京医科歯科大学病院 集中治療部 集中ケア認定看護師
吉国 健司	JCHO 下関医療センター 薬剤部 薬剤部長
渡邊 健太	杏林大学医学部付属病院 CICU 副主任 感染管理認定看護師

※講師の所属・肩書は撮影時点のものです。

技術プログラム

新人看護職員の基本的看護技術を支える科学的根拠や構造的知識、厚生労働省が示す臨床実践能力として習得すべき技術的側面（Ⅱ）を網羅した技術が学べます。

【映像時間】技術：約3分

技術の知識：約10分



※プログラムは変更になる場合がありますのでご了承ください。

Ⅱ 技術的側面		研修項目	
		すべてのケアに共通した基本的技術	ケア前後プロセス
環境調整技術	技術	ベッドメイキング	基本的ベッドメイキング
			シーツ交換
	技術の知識	講師：清水 孝宏	療養環境調整の基本的知識
			検査の準備と調整
手術の準備と調整			
食事援助技術	技術	食事介助	食事摂取と環境調整
			嚥下評価
			食事介助
		経管栄養法	経鼻経腸栄養チューブの挿入と管理
			経胃瘻栄養法
			経腸栄養注入ポンプの取り扱い
	技術の知識	講師：清水 孝宏	栄養管理の基本的知識
			食行動のアセスメント
			栄養スクリーニング
			胃瘻の基本的知識
排泄援助技術	技術	自然排尿・排便援助	臥床患者の排尿援助
			臥床患者の排便援助
			ポータブルトイレでの排泄介助
		導尿	導尿法による排尿援助
		経尿道的膀胱留置カテーテルの排尿援助	経尿道的膀胱留置カテーテルの挿入・抜去と管理
		浣腸	浣腸
		摘便	摘便
		ストーマ	人工肛門のストーマ装具交換
	IAD(失禁関連皮膚炎)	IAD の処置	
	技術の知識	講師：清水 孝宏	排泄援助の基本的知識
			経尿道的膀胱留置カテーテル挿入中の管理
		講師：志村 知子	IAD の発生メカニズム
IAD の予防的ケアと治療的ケア			
活動・休息援助技術	技術	歩行介助・移動の介助・移送	歩行介助
			車いすへの移乗と移送
			ストレッチャーへの移乗と移送
		体位変換	体位調整
	技術の知識	講師：座間 順一	活動と休息（睡眠）のメカニズム
			リラクゼーション環境の調整
			体位と身体生理
		講師：廣瀬 恵	活動と関節可動域（ROM）のメカニズム
		講師：清水 孝宏	フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームと活動・休息
		講師：圖師 将也	安全な移乗・移送とボディメカニクスの基本原理
		講師：露木 菜緒	ベッド、リネン、用具の取り扱い方
		講師：加島 広太	ポジショニングクッションの使用法
		講師：廣瀬 恵	装具の使用法
		講師：圖師 将也	車椅子の取り扱い方
		講師：圖師 将也	松葉杖の取り扱い方
		講師：座間 順一	活動と睡眠の基本援助
			入眠・睡眠への援助

Ⅱ 技術的側面		研修項目	
清潔・衣生活援助技術	技術	清拭・寝衣交換	全身清拭と寝衣交換
		オムツ交換・陰部洗浄	オムツ交換と陰部洗浄
		整容	整容
		部分浴	手浴
			足浴
		スキンケア	スキンケア
		除毛	除毛
		口腔ケア	オーラルケア
	技術の知識	講師：露木 菜緒	清潔ケアの基本的知識
		講師：清水 孝宏	口腔機能と全身機能の関連知識
			オーラルケアの原理と方法
呼吸・循環を整える技術	技術	酸素療法	酸素ボンベ
			低流量システム
			高流量システム
			高流量鼻カニューラ酸素療法（HFNC）
			気管切開患者の酸素療法
		ネブライザー	ネブライザー
		気道吸引	口腔吸引
			気管切開患者の気管吸引
		気管チューブのカフ圧管理	気管チューブのカフ圧管理
		気管切開チューブの交換	気管切開チューブの交換
		気管切開チューブ インナーカニューレ交換	気管切開チューブ インナーカニューレの交換
	技術の知識	講師：露木 菜緒	呼吸機能の基本
		講師：山形 泰士	循環機能の基本
		講師：露木 菜緒	体温調節の基本
			酸素療法の基本
			酸素療法のインシデント、アクシデント
		講師：吉国 健司	吸入療法の基本
		講師：露木 菜緒	ネブライザーの基本
			気道吸引の基本的知識
		講師：清水 孝宏	せん妄の基本的知識
		講師：露木 菜緒	体温調整の方法
創傷管理技術	技術	創傷処置	手術創の処置
		褥瘡処置	褥瘡の処置
		スキン－テア処置	スキン－テアの処置
	技術の知識	講師：志村 知子	創傷治癒過程
			褥瘡・MDRPU の発生メカニズム
			褥瘡・MDRPU のリスクアセスメント
			褥瘡・MDRPU の予防的ケア－スキンケア
			褥瘡の予防的ケア－外力低減ケア
			MDRPU の予防的ケア－外力低減ケア
			褥瘡・MDRPU のアセスメント（DESIGN-R®2020）
			褥瘡・MDRPU の治療的ケア
			スキン－テアの発生メカニズム
			スキン－テアの予防的ケアと治療的ケア
与薬の技術	技術	経口薬の与薬	経口投与法
			簡易懸濁法
		外用薬の与薬	経皮投与
			点眼投与

Ⅱ 技術的側面		研修項目	
与薬の技術	技術	外用薬の与薬	点耳投与 点鼻投与
		腔内与薬	腔内投与
		直腸与薬	直腸投与
		吸入与薬	吸入投与
		薬剤の準備	薬剤のミキシング
		注射	皮内注射
			皮下注射
			インスリン注射
			筋肉注射
		静脈内注射、点滴静脈注射	ワンショット静脈注射
			生食・ヘパリンロック
			点滴静脈注射
			静脈穿刺による血管確保
		輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理	輸液ポンプの使用法と管理
			シリンジポンプの使用法と管理
		輸血の準備、輸血中と輸血後の管理	輸血
	技術の知識	講師：鮎原 秀明	薬剤投与の基本的知識
			薬剤投与とインシデント、アクシデント
			薬剤投与と医療事故防止、職業感染、曝露防止
			薬剤投与量の基本的知識
			薬剤投与と副作用
		講師：露木 菜緒	アナフィラキシーショックの対応
		講師：道又 元裕	看護業務と静脈注射の法的位置づけと責任
			看護業務と静脈注射の法的解釈
		講師：露木 菜緒	静脈注射の基本的知識
		講師：坂倉 圭一	インスリン製剤の種類・用法と副作用
		講師：鮎原 秀明	薬剤等の管理
		講師：吉国 健司	血液製剤の基本的知識
		講師：鮎原 秀明	麻薬の理解と管理
		講師：露木 菜緒	輸血の基本的知識
救命救急処置技術	技術	一次救命処置	一次救命処置（BLS）
			バッグバルブマスク（BVM）の使用法
			AED の使用法
			止血法
			胸骨圧迫
	技術の知識	講師：三上 剛人	一次救命処置（BLS）の基本的知識
		講師：小池 伸亨	救急カートと救急薬品
		講師：渡邊 健太	空気感染の可能性が否定できない患者への一次救命処置（BLS）
		講師：露木 菜緒	意識レベルの評価
		講師：小池 伸亨	除細動器の使用法
			気道確保と気管挿管の準備と介助
			気道確保とエアウェイ法
			気道確保とハイムリック法
		講師：道又 元裕	急変の予防と予知の基本的知識
		講師：濱本 実也	急変と SBAR
		講師：立野 淳子	急変時の家族対応
		講師：小池 伸亨	急変時の看護記録
		講師：露木 菜緒	急変時の初期対応とチームメンバーへの応援要請と対応

Ⅱ 技術的側面		研修項目	
症状・生体機能管理技術	技術	フィジカルイグザミネーション	フィジカルイグザミネーションの基本
		身体測定	身体測定
		心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	12誘導心電図の装着と測定
			心電図モニタの装着と管理
		バイタルサイン測定	脈拍測定
			血圧測定
			体温測定
			呼吸測定
			パルスオキシメータの原理と測定
		血糖測定	血糖測定
		採血	静脈採血
		胃管挿入	胃管の挿入準備と管理
		検体の取り扱い	胃液採取
			尿採取・培養
			便採取・培養
			喀痰採取・培養
			咽頭培養
			血液培養
	技術の知識	講師：川端 千壽	バイタルサインの観察と解釈
			フィジカルアセスメントの基本
			症状・生体機能の評価ツール
		講師：山形 泰士	ショック徴候
			心電図の基本的知識と理解
安楽確保の技術 苦痛の緩和	技術	安楽で機能的な体位の調整	安楽で機能的な体位の調整
	技術の知識	講師：座間 順一	電法等身体安楽促進ケア
		講師：加島 広太	機能的な体位の調整
感染予防技術	技術	標準予防策（スタンダードプリコーション）の実施	手指衛生
			個人防護具の着脱
		N95	N95微粒子用マスクの着脱
		無菌操作の実施	滅菌手袋の着脱
			滅菌ガウンの着脱
			滅菌物の取り扱い
		医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い	感染性廃棄物の取り扱い
	技術の知識	講師：渡邊 健太	感染制御の基本的知識
			手術部位感染（SSI）の基本的知識
			カテーテル関連尿路感染（CAUTI）の基本的知識
			カテーテル関連血流感染（CRBSI）の基本的知識
			標準予防策（スタンダードプリコーション）の考え方
			感染経路別予防策、ゾーニングの方法
			洗浄・消毒・滅菌の基本的知識
			職業感染防止対策と事故後の対応
安全確保の技術	技術	誤薬防止	誤薬防止の手順に沿った与薬
		患者誤認防止策	患者誤認防止策
	技術の知識	講師：後藤 順一	転倒転落防止策
死亡時のケアに関する技術	技術の知識	講師：後藤 順一	死亡診断と死亡届

看護職員として必要な一般的知識

新人看護職員が医療機関の組織員として看護を実践するうえで、理解しておくべき医療サービスの役割、機能、運営、実践に係わる基礎知識が学べます。看護師として必要な基本姿勢と態度（Ⅰ）と管理的側面（Ⅲ）を網羅しています。

【映像時間】 約 10 分



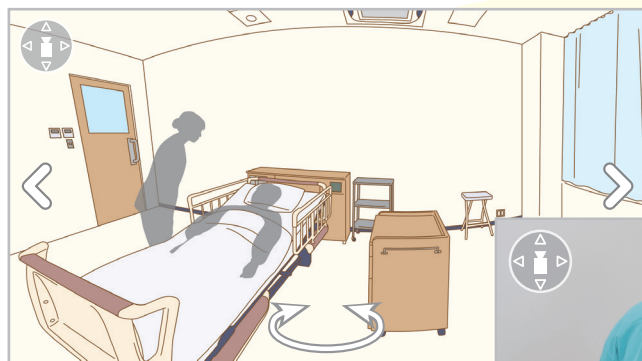
※プログラムは変更になる場合がありますのでご了承ください。

I 基本姿勢と態度	カテゴリー（趣旨）	Ⅲ管理的側面	研修項目	講師
看護職員としての自覚と責任ある行動	医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する	安全管理	医療における倫理	道又 元裕
	看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	安全管理	医療サービスと安全文化	濱本 実也
		安全管理	医療サービスとインシデント、アクシデントの定義	濱本 実也
		安全管理	医療事故発生時の連絡体制	濱本 実也
		安全管理	医療事故の再発防止	濱本 実也
		安全管理	看護業務とインシデント、医療事故	濱本 実也
		安全管理	患者安全と患者誤認防止策の実施	濱本 実也
		薬剤等の管理	患者安全と薬剤投与	濱本 実也
		安全管理	リスクアセスメントの基本	濱本 実也
		薬剤等の管理	患者安全と輸血投与	露木 菜緒
		物品管理	医療安全と医療機器	後藤 順一
		安全管理	患者安全と転倒・転落	濱本 実也
		安全管理	患者安全とチーム医療	道又 元裕
		情報管理	患者の個人情報保護の基本	道又 元裕
		災害・防災管理	医療サービスと危機管理対策	藤野 智子
		安全管理	苦情・クレームの種類と内容	里井 陽介
		安全管理	暴言・暴力・ハラスメントへの対応方法の基本	里井 陽介
		安全管理	病院内防犯対策	藤野 智子
		安全管理 感染管理	医療サービスと感染制御体制	渡邊 健太
	職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	安全管理	社会人としてのこころ構え	道又 元裕
		安全管理	看護倫理の基本	清水 称喜
		安全管理	感情制御	清水 称喜
		業務管理	看護職と交代勤務	片山 雪子
		安全管理	リーダーシップの基本	道又 元裕
		業務管理	看護職員とレジリエンス	片山 雪子

I 基本姿勢と態度	カテゴリー（趣旨）	Ⅲ 管理的側面	研修項目	講師
患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立	患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	業務管理	医療を受ける人の理解と医療サービスへのニーズ	片山 雪子
		業務管理	医療サービスを実践する場の環境調整	片山 雪子
		業務管理	ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント	露木 菜緒
	患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	業務管理	医療サービスと接遇マナー	片山 雪子
	患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る	情報管理	医療サービスと患者参画	浅香 えみ子
		情報管理	インフォームド・コンセントと看護師の役割の基本	片山 雪子
		情報管理	患者・家族などからのニーズに対応する仕組み	浅香 えみ子
	家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	業務管理	家族の機能と役割	立野 淳子
	守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	情報管理	個人情報保護とヒューマンエラー	里井 陽介
	看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する	情報管理	家族ケア	立野 淳子
組織における役割・心構えの理解と適切な行動	病院及び看護部の理念を理解し行動する	情報管理	医療サービスの仕組み	道又 元裕
		情報管理	社会資源の基本的知識	大久保 恵子
		情報管理	地域社会と医療機関の役割	道又 元裕
	病院及び看護部の組織と機能について理解する	情報管理	病院組織と機能	道又 元裕
		コスト管理	病院運営と経営・経済管理	道又 元裕
		業務管理	看護業務の特性と他職種の業務特性	道又 元裕
		業務管理	看護部の組織と機能、役割	浅香 えみ子
		情報管理	新人看護職員を支える組織体制と人々	浅香 えみ子
	チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	業務管理	看護業務と思考・行動の特性	道又 元裕
		安全管理	チーム医療と看護師の役割	清水 孝宏
		情報管理	多職種チームと情報伝達の基本	辻本 雄大
	同僚や他の医療従事者と適切なコミュニケーション	業務管理 情報管理	コミュニケーションの基本	辻本 雄大
			アサーションコミュニケイトの基本	西村 祐枝
			報告・連絡・相談の基本	辻本 雄大
			報告・連絡・相談の実際	辻本 雄大
生涯にわたる主体的な自己学習の継続	自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題をみつける	業務管理	専門職業人として専門性を育むスタイルと方法	道又 元裕
		業務管理	専門職業人とキャリアディベロップメント	道又 元裕
		業務管理	目標管理 新人：成長支援	浅香 えみ子
	課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	情報管理	看護職と問題解決思考	道又 元裕
		情報管理	根拠に基づく看護実践の基本	櫻本 秀明
		情報管理	課題解決のための情報収集	川端 千壽
		情報管理	看護過程に必要な基本的要素	道又 元裕
		情報管理	看護記録方法の基本	滝島 紀子
		情報管理	看護サマリーの書き方の基本	滝島 紀子
		業務管理	クリニカルパス	藤野 智子
		業務管理	外来業務における看護業務の基本	藤野 智子
		業務管理	入院・退院における看護業務の基本	藤野 智子
		業務管理	ケア・ニーズの優先度の判断と報告の基本	片山 雪子
		業務管理	多重課題への対応の基本	片山 雪子
		物品管理	看護と物品・物流管理	片山 雪子
	学習の成果を自らの看護実践に活用する	業務管理	ポートフォリオ	立野 淳子
		業務管理	リフレクションを促進する	宇都宮 明美

医療と看護の「今」の情報を専門家チームが常にアップデート

技術の進歩とともに目まぐるしく変化する医療と看護に対応できるように、技術映像、講義等を最新情報に常に更新します。より効果的な学習と実践を考えて、複数の視点から確認が必要な看護技術について360度好きな角度で確認できる映像を随時追加、また看護手順書と必要物品を集約したビジュアルポケットブックの提供等、臨床の現場に役に立つコンテンツを提供していきます。



360度動画



受講料

登録ID数
無制限

クリニカルラダー別研修 or 看護師特定行為研修
と併用の場合



S-QUE クリニカルラダー別研修
or
看護師特定行為研修
のご利用料金
(区分によって料金の変動あり)



S-QUE 新人看護職員研修
料金 15,000 円 / 月 (税抜)



単体でお申し込みの場合

S-QUE 新人看護職員研修 (単体)

料金 35,000 円 / 月 (税抜)

- ・1年毎の年間契約となります。契約に変更がない場合は自動更新されます。
- ・支払方法は一括、月々から選べます。



無料お試し事前申込受付中！

S-QUE 新人看護職員研修の無料お試しは 2024 年 1 月 22 日スタート！



看護の専門家混合チームが e ラーニングを充実サポート



～担当制ではなく、チームで対応～

- 看護部や院内全体での活用方法を専門家の視点からお伝えします。
- ID 登録やお問い合わせに迅速に対応します。
- ご説明は、訪問・オンラインで柔軟に対応します。

きめ細かいサポートで、安心してお使いいただけます。

お問い合わせ

ヴェクソンインターナショナル株式会社(S-QUE研究会事業部)

エスキュー

Q 検索

フリーダイヤル **0120-128-774** (受付:平日10:00-17:00)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-15 NTF 竹橋ビル 8 階 MAIL:support@s-que.net

S-QUE 研究会
Training Packages for Nursing Departments



202401